

所 属	こども青少年課
所属長	浅田 崇之
電 話	06-6423-9996

**行政のデータを未来の子どもたちに生かす
「尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」**

尼崎市は、8月23日に「第6回尼崎市学びと育ち研究所報告会～エビデンスに基づいた教育政策を目指して～」を開催します。

「尼崎市学びと育ち研究所」では、子ども一人ひとりの状況に応じ、実社会を主体的に生きていくために必要な力を伸ばしていけるよう、外部の研究者を招き、中長期的な効果測定を通じた科学的根拠(エビデンス)に基づく先進的研究を行っています。

報告会では、研究員による研究報告とともに、EBPMの今後の展望についてディスカッションを行います。

1 日時

8月23日(水) 午前10時から正午まで

2 開催方法

YouTube「尼崎市学びと育ち研究所」チャンネルでオンライン配信
後日、アーカイブを視聴することもできます。

URL: <https://youtube.com/live/PDFSD14Hjlk?feature=share>



3 内容

(1) 研究報告

- ア 「教育環境が学力に与える影響」
(大竹 文雄 所長 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授))
- イ 「非認知的能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」
(北野 幸子 主席研究員 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授))
- ウ 「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」
(中尾 繁樹 主席研究員 (関西国際大学 教育学部 教授))
- エ 「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」
(永瀬 裕朗 主席研究員 (神戸大学大学院 医学研究科 特命教授))
- オ 「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」
(野口 緑 主席研究員 (大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授))
- カ 「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」
(濱島 淑恵 主席研究員 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授))
- キ 「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」
(藤澤 啓子 主席研究員 (慶應義塾大学 文学部 教授))

(2) ディスカッション

演題 「国の社会保障政策と自治体の子ども政策～政策研究とEBPMの狭間で～」

大竹 文雄 所長 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授)

安藤 道人 主席研究員 (立教大学経済学部 准教授)

以 上

／今年の夏も／

学びと育ち

研究所

報告会



2023年8月23日（水）

10:00～12:00 @WEB

第一部 研究発表

第二部 ディスカッション

大竹 文雄 所長（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）
「教育環境が学力に与える影響」
北野 幸子 主席研究員（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）
「非認知的能力の育ちを捉え育む乳幼児教育・接続期教育の開発」
中尾 繁樹 主席研究員（関西国際大学 教育学部 教授）
「学習や学校生活における困難を改善する指導に関する実践研究」
永瀬 裕朗 主席研究員（神戸大学大学院 医学研究科 特命教授）
「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」
野口 緑 主席研究員（大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授）
「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」
濱島 淑恵 主席研究員（大阪公立大学大学院現代システム科学研究科准教授）
「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」
藤澤 啓子 主席研究員（慶應義塾大学 文学部 教授）
「就学前教育の質が就学後の学力や健康に与える影響」

「国の社会保障政策と自治体の子ども政策
～政策研究とEBPMの狭間で～」



大竹 文雄 所長
大阪大学
感染症総合教育研究拠点 特任教授



安藤 道人 主席研究員
立教大学 経済学部 准教授

ご視聴はこちらから！



尼崎市学びと育ち研究所

（尼崎市子ども青少年課）